

新規検査項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

謹白

記

新規受託項目

● 非結核性抗酸菌薬剤感受性検査は下記になります。

- ① 非結核性抗酸菌薬剤感受性検査（SGM）
- ② 迅速発育抗酸菌薬剤感受性検査（RGM）

- * 本検査のご依頼には、[依頼コード:70] 抗酸菌感受性検査をご依頼下さい。
- * 質量分析法により同定された抗酸菌の菌種に応じて弊社で薬剤感受性検査を選択しご報告します。
- * 迅速発育抗酸菌を除く非結核性抗酸菌はSGMで検査実施致します。
- * 内容についての詳細は次頁以降をご確認下さい。

変更期日

- 令和6年4月1日（月）報告分より

非結核性抗酸菌は発育の速さによって、遅発育抗酸菌 (slowly growing mycobacteria:SGM) と迅速発育抗酸菌 (rapidly growing mycobacteria:RGM) に二分されます。

非結核性抗酸菌症は多剤併用化学療法による長期間の治療を必要とするため、適切な薬剤選択が重要です。

● 検査要項

項目コード	70 (抗酸菌感受性検査)	
検査項目名称	非結核性抗酸菌薬剤感受性 (SGM)	迅速発育抗酸菌薬剤感受性 (RGM)
検査材料	菌株 / 呼吸器系材料等 (生検体) ※1	
検査方法	微量液体希釈法	
実施薬剤	CAM (クラリスロマイシン)	AMK (アミカシン)
	AZM (アジスロマイシン)	TOB (トブレマイシン)
	MFLX (モキシフロキサシン)	IPM (イミペネム)
	AMK (アミカシン)	FRPM (ファロペネム)
	MINO (ミノサイクリン)	LVFX (レボフロキサシン)
	INH (イソニアジド)	MFLX (モキシフロキサシン)
	EB (エタンブトール)	AZM (アジスロマイシン)
	RBT (リファブチン)	CAM (クラリスロマイシン)
	STFX (シタフロキサシン)	ST (スルファメキサゾール/トリメトプリム) ※2
	KM (カナマイシン)	DOXY (ドキシサイクリン)
	DOXY (ドキシサイクリン)	MEPM (メロペネム)
	LZD (リネゾリド)	LZD (リネゾリド)
	TH (エチオナミド)	CLF (クロファジミン)
RFP (リファンピシム)	STFX (シタフロキサシン)	
所要日数※3	2週 ~ 3週	
実施料	400点 (150点:微生物学的検査判断料)	
報告様式	<ul style="list-style-type: none"> 最小発育阻止濃度MIC値 (単位: $\mu\text{g} / \text{mL}$) をご報告します。 CLSI M24S 2nd ed.に判定基準の記載がある薬剤は、判定カテゴリー (S: 感性、I: 中間、R: 耐性) も併せてご報告します。 MAC (M.avium/M.intracellulare) の場合は、AMKとAMK (吸入) 2種類をご報告します。 	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 貴施設にて、抗酸菌の培養・同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は雑菌が発育していないことをご確認の上、菌種名を依頼書にご記入下さい。 同定されていない菌株でご提出の場合は、抗酸菌株同定 (質量分析法) (項目コード 3864) も同時にご依頼下さい。菌種確定後に検査を実施致します。 	
備考	<p>※1: 呼吸器系材料等 (生検体) でご提出の場合は、抗酸菌分離培養をご依頼いただき、抗酸菌の発育が認められた場合に抗酸菌株同定・感受性検査の実施の有無を確認させていただきます。</p> <p>※2: ST (スルファメキサゾール/トリメトプリム) につきましては、スルファメキサゾールのMIC値をご報告します。</p> <p>※3: 所要日数に培養日数および増菌などにかかる日数は含まれませんのでご注意ください。</p>	